

平成24年度 第4回心理学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成24年9月10日 午前11時から午後1時まで
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：木村委員長、今井委員、大島委員、金子委員（Web参加）、中澤委員
（事務局）井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 検討事項

今回の委員会では、2012年11月に上程される報告書の最終的な原稿に仕上げ
るための推敲を行った。学士力実現に求められる教育改善モデルの最終案とするため
宿題となっていた到達目標や教育改善モデルの解説文を、以下のような流れの中で吟
味した。

- (1) まず、事務局より配布された第3回委員会（2012年8月24日）作成の資
料④「心理学教育における学士力の考察について」の文言の再検討を、他分野の
資料を基に行った。

文頭に「心理学教育」とあったものを「心理学」と直し、2行目「生きとし生
けるものの全ての共生に貢献することを使命としている」を挿入して心理学の目
的を明確にし、社会的、学問的意味合いを最初に述べた。

7行目以下の心理学教育の文意を明確にするために、人間の活動全てに関わっ
ていることを述べ、社会との関連からその目的にいたる道筋を整理した。

また到達目標の解説文については、「ここでは」という書き出しから始め、主
体を学生として、技法やスキルを身につけることや学外との連携に重点を置く表
現になるように修正を加えた。

- (2) 資料⑤「心理学教育における教育改善モデル（その2）」の「2.3 授業にICT
を活用したシナリオ」について、授業シナリオ毎に授業例を加えた委員修正案
の検討を行った。

同様に「2.4 授業にICTを活用した学修内容・方法」について、具体的内
容が付加された中澤委員修正案を検討し、修正を行い最終案とした。

また「2.3 授業にICTを活用したシナリオ」の中の説明図の学士力へのプ
ロセス・モデルについて検討を行い、用語の修正などをした。

(3)「心理学教育における教育改善モデル(その1)」を図示するモデル図について、
検討された案にしたがって、委員が図を作成することとした。

以上